

2026年6月より、市立ひらかた病院 糖尿病・内分泌内科は「肥満症外来」を始めました。我々が北河内地域の皆様を提供するのは、**厳しい施設基準をクリアした医療機関のみが提供できる、最適使用推進ガイドラインを遵守した保険診療による肥満症治療**です。自費診療による保険適応外（全額自己負担）の肥満症治療ではありません。

肥満症外来が始まってからの大反響は、もう驚くばかりで、ひっきりなしに地域連携室を通じて肥満症治療を希望する患者さんのご予約が入ります。我々もまさかここまでとは予想もしていませんでした。こんなに多くの患者さんが保険診療による肥満症治療を求めておられたとは!!

ですが、保険診療による肥満症治療には、たくさんの制約があり、保険診療の適応となる条件も細かく決められています。思い切って当科の肥満症外来を訪ねて下さった患者さんの中には、それらの制約や条件をお聞きして、泣く泣く治療を断念された方もいらっしゃいます。当科では肥満症外来の初診で、担当医より治療について詳しくご説明申し上げますので、どうぞ安心してお越しいただけたらと思います。

さて、本日はもう少し手前のお話を。そもそも“肥満”ってどうして起こるのでしょうか？巷では、まことしやかに言われています。「意志が弱いから食べ過ぎて太るんやろ」「管理不足や」「肥満は自己責任」……これ全部、間違いです。

肥満が自己責任で済まされない科学的な理由

遺伝の要因で太りやすい人もいる



<https://himanlabo.qlife.jp/>

日本における肥満の増加は、食生活や生活環境（いわゆる環境因子）の変化が大きく関与しています。それだけではありません。赤ちゃん時代の食生活や生活環境が、遺伝子の働きに変化を与え、大人になってからの肥満や糖尿病・高血圧・脂質異常症などへのなりやすさを決めてしまうという DOHaD（Developmental Origins of Health and Disease）学説が提唱されています。

Part2 では、現代社会における肥満の環境因子について、そして DOHaD 学説についてご紹介します。

肥満は自己責任ではありません。肥満・肥満症に精通した医療従事者と一緒に治療に取り組むべき“疾患”なのです。医療の力を借りることは「甘え」ではなく、自分の体を守り健康を取り戻すための行動です。「肥満は自己責任」という社会の偏見を乗り越えて、患者さんが健康を取り戻すお手伝いをするのが、我々の仕事だと信じています。

Part2 に続きます！